第192回 長崎大学FD実施報告書（令和元年8月28日提出）

１．題　　目　：　e-learningで「ルーブリック」を学ぶ・作る

２．日　　時　：　第1期：令和元年5月27日（月）－6月14日（金）
　　第2期：令和元年6月24日（月）－7月12日（金）
　　第3期：令和元年7月22日（月）－8月16日（金）

３．場　　所　：　eラーニング

４．主　　催　：　教務委員会
　企画・実施：　評価・FD教育改善専門部会

５．対　　象　：　全教職員

６．長崎大学FDに関する申合せ第2第1項への該当について【複数選択可】
　（該当するものに○を記入すること）：
　［　○　］(1)　教員の教育活動に関するもの
　［　○　］(2)　カリキュラムの改善に関するもの
　［　　］(3)　教育の組織的改善に関するもの
　［　　］(4)　入学者選抜方法の改善に関するもの
　［　○　］(5)　その他教育改善及び入学者選抜の改善に関するもの

７．今回のFDの趣旨・意義（６．に関連した形で記述すること）：
　・ガイドライン（eおよびkその他（成績評価に関する検討））に対応
　・学生の成績評価において，判断基準の公表・共通認識なしに厳しい評価を行うという場合や，逆に，容易に単位を出し，高めの成績評価を付与するという場合などがある。今後，教育の質保証の観点からも評価基準の明確化が必要となっており，「ルーブリック」がそのひとつのツールとして考えられる。
　・このFDでは，LACS上のe-learningコンテンツ（金沢電子出版など）を活用し，ルーブリックの基本を学び，教員自身の授業の科目ルーブリックを作成することを試み，今後の授業に活かしていくこととする。

８．プログラム構成［題目・担当講師］（当日使用した資料等を添付すること）：

関連動画スライド＋

市販コンテンツ動画（全 11 回 約 75 分）

1. ルーブリックとは？(9:10)
2. 様々な種類のルーブリック(7:44)
3. ルーブリックの段階(6:24)
4. なぜルーブリックを使うのか？(9:14)
5. ルーブリックを利用できる人(2:30)
6. 使用上の留意点(5:28)
7. ルーブリックの作成手順(6:40)
8. FAQ（よくある質問）(11:42)
9. ルーブリックの作成(00:50)
10. ブラッシュアップ(3:04)
11. モデレーション(3:20)

上記視聴後に，授業の科目ルーブリック（Excel）の課題提出。

各期 50 名までとし，第 1 期，第 2 期，第 3 期それぞれで認定する。

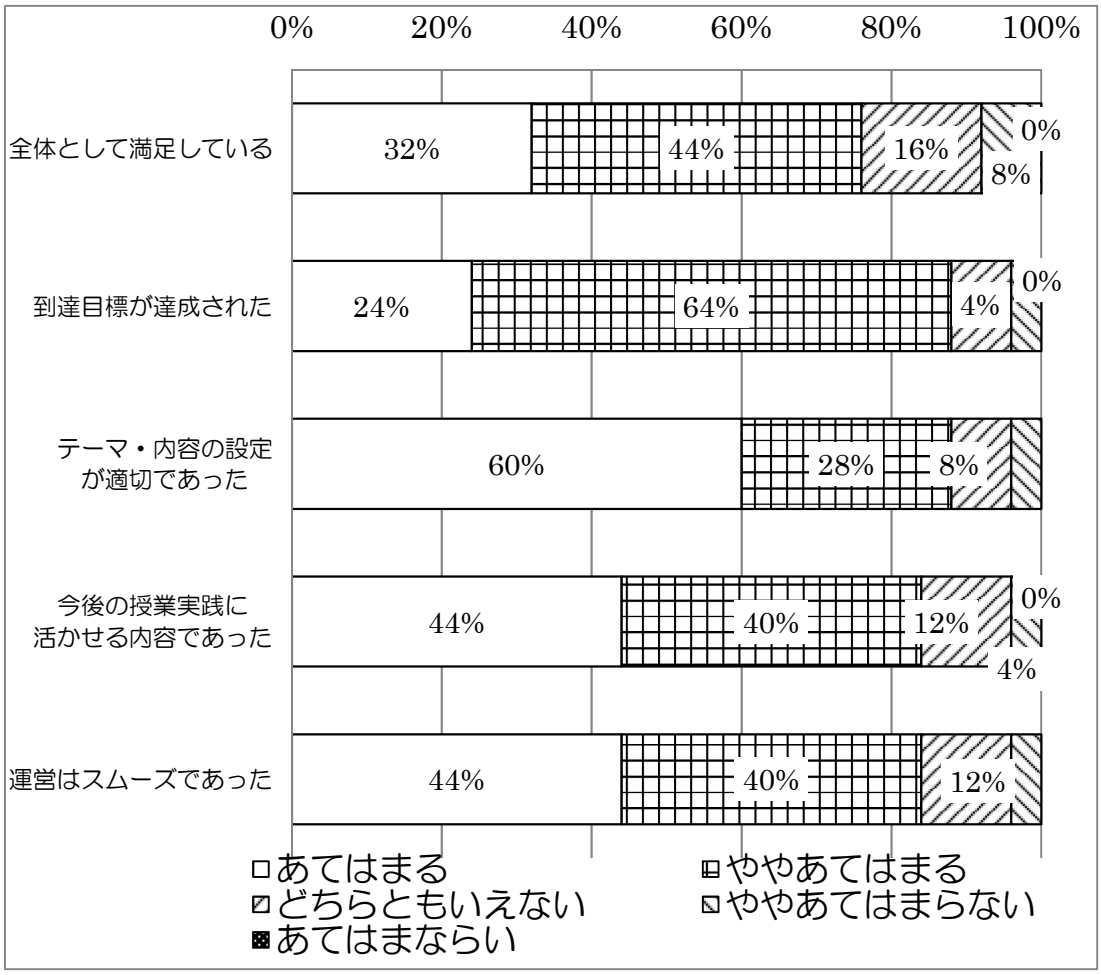
９．参　加　者：　30　名

（内訳）

所　属	人　数
医学部	1
医歯薬学総合研究科（医学系）	10
医歯薬学総合研究科（保健学系）	4
教育学部	1
経済学部	1
工学研究科	1
水産・環境科学総合研究科（環境科学領域）	1
原爆後障害医療研究所	1
核兵器廃絶研究センター	2
保健・医療推進センター	1
病院	7
計	30

１０．実施したFDの成果等：

(1) 参加者からの評価（アンケートの集計結果を記述する）



(2) 総　　括

機関別認証評価や教学マネジメントの観点，教育の質保証・学修成果の可視化が重要となっている。この学修成果（GPA）では，成績評価の厳格化や客観性において，パフォーマンス評価も含めた総括的評価も必要であり，そのパフォーマンス評価において，評価基準の明確化のひとつのツールとして「ルーブリック」が考えられる。これまでもルーブリックに関しては，FD などで課題やプレゼンなどの評価についての学習機会を設けてきたが，今回の e-learning による FD は，教員自身の授業の科目ルーブリックを作成するという試みであり，教員自身のシラバスの見直しにも通じるものとなっている。

開講時期を 3 期に分けて実施したが，申込者数の 3 割にあたる 30 名に FD 認定を行った。フィードバックによると，ほぼ満足した割合となっており，「ルーブリックを作成するいい機会となった」，「再確認できた」，「簡潔でわかりやすい

動画でした」，などの良好な意見も頂戴している。ただ，一方ではコンテンツ内容の他，LACS を活用した e-learning の受講方法や接続に不満をもつ意見もある。また，今回からシステムの自動登録という形式を用いたが，自動登録で受講した教員は10名程度であり，今後の受講手順なども再考していきたいと考える。

機関別認証評価等で必要なシラバスに関し，DP との関連をもった授業到達目標・成績評価基準の記述は重要であるため，この e-learning コンテンツは今後も活用し実施すること，さらに，直接ワークショップなどで科目ルーブリックをブラシュアップできる研修会を設けることが必要だと思われる。

（文責：大学教育イノベーションセンター　若菜　啓孝）

１１．実施代表者の連絡先：

大学教育イノベーションセンター
若菜 啓孝　教授
e-mail：fd@ml.nagasaki-u.ac.jp
電　話：内線 2907

１２．申請者の連絡先

学生支援部 教育支援課 総務班（教育改善）
田川 貴明　班員
e-mail：fd@ml.nagasaki-u.ac.jp
電　話：内線 2088